

総科で輝いている人紹介

安室 蒼馬さん

(社会探求領域)



所属されている領域を教えてください。
社会探求領域です。

どうしてその領域に進もうと思ったのですか？

僕はもともと、どの領域に進みたいのか考えがはっきりと定まっていませんでした。ただ、自然探求領域に進むのは違うなと漠然と感じていました。どちらかというと、自分は社会系の人間だなと思って。社会探求領域の社会フィールドか、人間探求領域のどれかだと思っていました。領域を選ぶ上で一番の決め手は、社会フィールド授業科目群に尊敬する教授が1人いたことですかね。その教授の下で勉強したいという思いが強かったので社会探求領域社会フィールド授業科目群を選択すると決めました。

学生生活で頑張っていることを教えてください。

良い成績をとってそれを維持する努力をしようとしています。大学の授業をちゃんと真面目に聞いて、ちゃんと勉強しよう。他には、本をできるだけたくさん読もうとか。映画を見ようとか。大学でしかできないことでもないけれど、でも、社会に出た後に役

に立つような知識を今のうちにもっともつと蓄えておこうという気持ちで日々過ごしています。とはいっても、毎日勉強ばかりしているわけではないです(笑)でも、基本的にはどんな時でもやらなきゃやらなきゃとは思っています。例えば、遊びに行くとか、旅行に行くとかでも、できるだけその風景を観察して、こういうとこ面白いなっていうのを見つけたりとか。大人の人と話す場面、交渉しなきゃいけない場面があったら、あ、じゃあこういう方法使ってみたらどうかなって考えて、いろいろ試してみたりとか。でも、そればかりじゃなくてよく遊んでいます。ちなみに最近のマイブームはデュエルマスターズです。(笑)

なぜ勉強をそんなに頑張っているのですか？

これといった目標は特にないけど、死ぬまで勉強したほうがいいんじゃないかなと思っているからです。なんでもそれは教科だけの話じゃなくて、どうやって対人関係を円滑にしようとか。こういう風に言ったら、こ

ういう人はやってくれるんじゃないかっていうのを、少しずつ蓄えていったら、自分のレベルが上がっている実感が持てるでしょ。常にレベルを積み上げていきたいなとは思っています。偉そうかもしれないけど、そう思っているから勉強していますね。いろんなものが蓄積された状態の自分、いろいろ勉強した自分のようなものを目指して勉強しています。

総合科学部27年度入学生をまとめる「総代」
になって、なにかきづいたことはありますか？

自分の中で、切り替える区切りをみんなに提示すると全体の雰囲気は締まると感じました。ここまでは遊びで、ここからは切り替えて真剣にやりましょうっていう感じを出すと、場が締まる感じがしたというか。僕自身普段からふざけているけど、ふざけつつここは真面目にやりたいっていう思いを伝えるとき、みんな真剣に聞いて取り組んでくれました。ものの頼み方だとかも勉強になったように思います。この仕事は誰にお願いすれば

いいかとか、ひとつの仕事の適任者を考えられるようになりました。この人はこういうところをちゃんとやってくれるんだとか、こういうことが得意なんだとか、各人各人を見て考えるきっかけになった気もします。妄想かもしれないけど。全体に漠然とした指示を出す、個々人が自分は何をすればいいのかわくわくなくなってしまうから、期限を先に決めて、具体的な指示をだすことの大切さを学びましたね。

総科でよかったと思うことはありますか？

あまり、俗にいうチャライ人がいないような気がします。男女関係なくみんな仲が良く、すごく結びつきが強いです。でもこのコミュニティの中でやってかないといけないから、みんな下手なことしないんです。下手なことしないから、すごくみんな穏やかであんまりギスギスしてないと思います。かつこつける必要もないし、派閥みたいなものもなく、結びつきが強くみんな仲が良いところは本当によかったなと思います。勉強面言くと、教養系の授業を自分の好きなように選

べることが魅力的だと思います。2年生になっても他の科目群の授業も自由に受講できるところ。興味があることを今のうちに自分で選択してその授業を受けられというのは総科の強みだと考えています。

趣味はありますか？

歌を歌うことです。最近は映画も見ています。読書もよくしていますね。

オススメの本は？

そうですね…授業で扱った本でもあるのですが、エドモンド・バークの『フランス革命の省察』ですかね。保守主義の話です。バークはフランス革命が全部終わるまでに亡くなっているんですけど、フランス革命が立ち上がってきた時に、その結末を予言したというか、警鐘を鳴らし続けていた人です。世は革命、革命と意気込んでいる中で、保守的なあり方っていうのを、今までのあり方を否定して抜本的に変えて、新しいものを用意することはできないとかっていうことを言った人です。『崇高と美の起源』っていう本も

おすすめですよ。この本も授業で扱ってからは好きになりました。

留学経験はありますか？

高校の時に二週間インドに行きました。大学に入学してからは1年生の夏休みにSTARTで二週間台湾へ、1年生の春休みには中国に一ヶ月行きました。

そこで得たものはありますか？

自分がいかに無知かを改めて感じました。すごくありきたりではあるのですが、今までこれが当たり前だと思っていたものが、全然当たり前じゃないのか。みたいな。インドとかだと、物乞いをしている子どもがいるじゃないですか。それで、日本のメディアも結構そういうものを取り上げていますよね。その内容って大体物乞いをしなければならぬ子どもは可哀想だとか。なんだかんたないますけどやっぱりお金がなくて貧しいっていうのは本当に苦しいっていう考えが染み付いていたんです。でも、僕がインドに行った時、物乞いをする子どもたちがわって寄

ってきて。その子達はとても楽しそうだったんですよ。あれ？この子たちは本当に不幸せなの？と思った覚えがあります。もしかしたら、ご飯を食べる程度食えることができてる、あんまり病気にかからないで、ある程度仲間がいるっていう、基本的人間が満たすべき欲求を満たすことができたら、幸せの定義は人によってだいぶ変わるのかなと考えました。僕の高校のインドに行っていた先輩は、物乞いをする子どもが可哀想、社会の闇を見た気がした、といったことを言っていたけれど、本当にそうなのか？みたいな。すごく批判的な視点が育ったなと思います。

おすすめの授業はありますか？

「文化人類学B」っていう高谷先生の授業です。

授業内容は？

儀礼についてです。町でお祭りとかやっていますよね。それが何を意味しているのかだとかを説明してくれる授業です。すごく面白かった。でも、どれも興味深いですよ。関矢

先生の、スポーツの授業とか。桑谷先生の「芸術学B」も面白かったです。アイルランドの映画を見て、そこから、アイルランド性とは何か、考察しようっていうのがすごく面白かったです。

最後に一言お願いします。

総科では教授の先生と知り合えたり、話を聞けたりする機会を多く得ることができま すよね。面倒に感じることもあるかもしれませんが、でもその時にすごくいい出会いがあるかもしれない。たくさんいい出会いを逃さないために、積極的に総科の行事に参加をしていってほしいなと思います。

